

## 次世代消費関連株式ファンド（資産成長型）（予想分配金提示型） （愛称：フューチャー・ジェネレーションズ）

### 設定来の運用状況について

※以下のコメントは、アリアンツ・グローバル・インベスターズU.S.LLCが提供するコメントを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

2022年1月26日

平素は次世代消費関連株式ファンド（愛称：フューチャー・ジェネレーションズ）をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドの設定来の運用状況について、お知らせいたします。

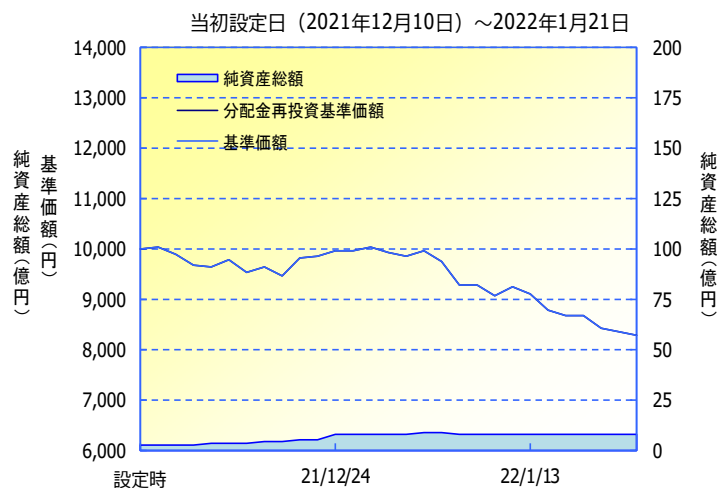
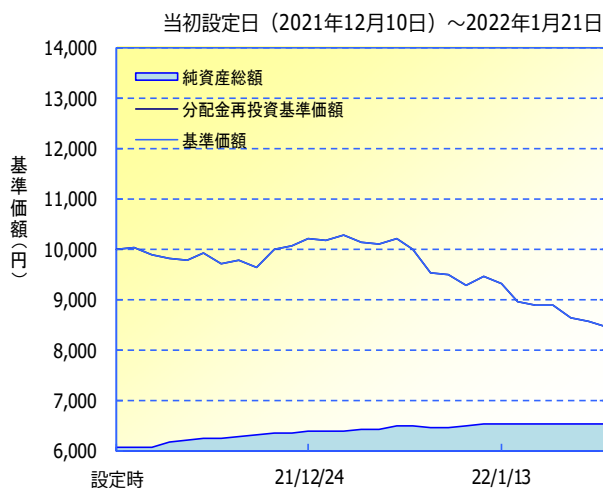
#### ■ 基準価額・純資産の推移（2022年1月21日時点）

##### ■ 資産成長型

基準価額	8,459 円
純資産総額	26億円

##### ■ 予想分配金提示型

基準価額	8,255 円
純資産総額	756百万円



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。  
 ※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。  
 ※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

## 設定来の投資環境：オミクロン株、金融引き締め警戒し下落

グローバル株式市場は、新型コロナ変異株のオミクロン株の感染拡大や米国の金融政策の動向を警戒し、やや値動きの荒い展開となりました。設定日（2021年12月10日）より、オミクロン株感染拡大への懸念や、インフレ率の上昇および金融引き締め懸念により軟調に推移しました。その後、オミクロン株の重傷化リスクは低いと伝わったことから一旦反発する局面もありましたが、年明け以降は、金融引き締めが強化されるとの観測により、再び下落基調となりました。

## 設定来の運用状況：若い世代の消費トレンドに着目し銘柄選定

当ファンドでは、運用開始以降、速やかにポートフォリオの構築を進め、1月21日時点で50銘柄に投資を行っています。

若い世代（フューチャー・ジェネレーションズ）により見出された、新たな消費トレンドに注目し、ボトムアップで銘柄を選別しています。組み入れに関しては、Z世代など次世代の比較的新しい消費行動に着目して投資するため、今後の成長の期待できる大型、中型株が組み入れの中心になってます。一方で、すでに巨大になっている超大型株の組み入れは低くなる傾向があります。個別では、オーガニック食品専門店のスプラウツ・ファーマーズや、民泊サイトのエアビーアンドビーなどが組入上位になっております。

## 相場見通し：不安定な環境続くが、金融引き締めは織り込みつつある

利上げの前倒しなど金融引き締め強化が懸念される中、長期的な成長性を有する企業の株価については、将来の収益力を現在の価値に割り引いて算出する際に適用する割引率が上昇するため、大きく下落しています。基準価額もこれらグロース株が大きく下落した影響を受けています。また、『企業の付加価値が急激に高まるのは、次世代の消費行動が幅広い年齢層に受け入れられ、マス市場に拡大する時』だと考えているため、事業の成長曲線の初期の段階で投資することも多くあります。足元の環境は、このようなまだ事業が軌道に乗っていない、利益の出していない企業にとっても強い逆風になっています。

しかしながら、金融引き締めへの懸念についてはおおかた織り込まれつつあると感じています。一部企業のバリュエーションもコロナ前の水準までに調整しております。また一旦先行きへの期待が剥落したことで、今後の好材料にも反応しやすい環境が整いつつあると考えています。不安定な相場環境がしばらく続く可能性はありますが、環境は緩やかに好転していくと考えています。

## 今後の運用方針：ジェネレーション・シフトの加速に注目

デジタルネイティブな若い世代は、商品、サービスの消費のあり方を変えています。我々は、このジェネレーション・シフトに着目することによって、力強いパフォーマンスを獲得できると考えています。世界的な新型コロナウイルスの大流行はこの変化を加速させ、特に保守的と言われる高齢者の消費者行動に大きく変化をもたらしました。多くの人はこの消費トレンド、嗜好の変化を認知しています。私たちは、めまぐるしく変わる消費トレンドの中で、消費者の行動の変化に敏感で迅速に対応できる企業だけが、市場シェアを獲得し、長期で魅力的なリターンを生み出すことができると考えています。

金融政策の見通しにより乱高下する局面がしばらく続く可能性はあります。しかし、長期で見れば、消費トレンドをつかむ良い投資機会であると考えています。

ポートフォリオにおいては、成長性、バリュエーション、クオリティのバランスの取れたエクスポージャーを維持していきませんが、とりわけイノベーションに注目して運用していく方針です。

### 主要な資産の状況（2022年1月21日現在）

#### 資産別構成

資産	銘柄数	比率
外国株式	48	93.7%
国内株式	2	2.2%
コール・ローン、その他		4.1%
合計	50	100.0%

#### 通貨別構成

通貨	比率
米ドル	94.8%
日本円	2.6%
ユーロ	1.3%
英ポンド	1.3%

合計100.0%

#### 国・地域別構成

国・地域名	比率
アメリカ	80.6%
スウェーデン	3.8%
イスラエル	3.1%
シンガポール	2.5%
日本	2.2%
オランダ	1.3%
イギリス	1.3%
カナダ	1.0%

合計95.9%

#### 株式業種別構成

業種名	比率
一般消費財・サービス	30.6%
コミュニケーション・サービス	28.2%
情報技術	13.0%
ヘルスケア	8.0%
生活必需品	6.6%
金融	5.7%
資本財・サービス	2.8%
不動産	0.9%

合計95.9%

#### 組入上位10銘柄

銘柄名	業種名	国・地域名	比率
SPROUTS FARMERS MARKET INC	生活必需品	アメリカ	4.6%
AIRBNB INC-CLASS A	一般消費財・サービス	アメリカ	4.4%
SPOTIFY TECHNOLOGY SA	コミュニケーション・サービス	スウェーデン	3.8%
ULTA BEAUTY INC	一般消費財・サービス	アメリカ	3.8%
DISCOVER FINANCIAL SERVICES	金融	アメリカ	3.5%
SNAP INC - A	コミュニケーション・サービス	アメリカ	3.3%
MATCH GROUP INC	コミュニケーション・サービス	アメリカ	3.3%
FIVERR INTERNATIONAL LTD	一般消費財・サービス	イスラエル	3.1%
ALIGN TECHNOLOGY INC	ヘルスケア	アメリカ	3.0%
UBER TECHNOLOGIES INC	資本財・サービス	アメリカ	2.8%

合計35.7%

※比率は、純資産総額に対するものです。

※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）によるものです。

※外国株式の国・地域名については、原則としてMSCI Inc.が提供するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。

## (ご参考) 組入上位10銘柄の紹介 (2022年1月21日時点)

※アリアンツ・グローバル・インベスターズU.S.LLCが提供するコメントを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

銘柄名 (国・地域名/業種名)	銘柄紹介
スプラウツ・ファーマーズ・マーケット (アメリカ/生活必需品)	新鮮でオーガニックな商品を専門に取り扱う食料品店チェーン。米国では若い世代を中心に健康意識の向上とともに食品添加物への関心が高まっており、有機野菜への需要拡大が期待される。
エアビーアンドビー (アメリカ/一般消費財・サービス)	別荘・民泊等の宿泊体験を提供するオンライン・サービスを運営。最近では、地元ならではの旅行等の人気が高まっており、同社の民泊サービスへの需要拡大が期待される。
スポティファイ・テクノロジー (スウェーデン/コミュニケーション・サービス)	音楽のストリーミングサービスを世界で展開。人工知能 (AI) が利用者の視聴履歴から好みを分析し、自動でプレイリストを作成する機能も有しており、若い世代から支持されている。
アルタ・ビューティ (アメリカ/一般消費財・サービス)	米国最大のコスメショップチェーンを運営し、実店舗とオンライン両方で販売を行う。人気セレブが監修した化粧品を低価格で販売し、Z世代を中心に人気を集めている。
ディスカバー・ファイナンシャル ・サービス (アメリカ/金融)	クレジット・カードや学生ローン、預金などの金融サービスを提供。同社の優れたオンライン・サービスや、費用体系のわかりやすさ等が若い世代から評価されており、同世代の消費額の増加とともに同社の成長が期待される。
スナップ (アメリカ/コミュニケーション・サービス)	画像加工等ができるユニークなコミュニケーションアプリ「Snapchat」を提供。同社は、過去5年連続で米国の10代に人気のSNS1位に選出されている。
マッチ・グループ (アメリカ/コミュニケーション・サービス)	世界最大級のオンライン・デート・プラットフォームを運営。「Tinder」は同社で最も人気のマッチング・アプリで、ユーザーの50%以上をZ世代が占めている。
ファイバー インターナショナル (イスラエル/一般消費財・サービス)	フリーランサーと企業等のマッチング・サービスを提供。同サービスは、200万人以上のフリーランサーと約400万の企業等に利用されている。
アライン・テクノロジー (アメリカ/ヘルスケア)	「マウスピース型矯正装置」のパイオニア。従来の歯科矯正装置に比べ、透明で目立たない、痛みや違和感が少ない等のメリットからさらにシェア拡大が予想される。
ウーバー・テクノロジーズ (アメリカ/資本財・サービス)	世界各地でアプリで配車サービスやフード・デリバリーサービスを展開。若い世代はオンラインで注文できるフード・デリバリーを好む傾向にあり、同社のサービスは高い支持を獲得。

※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準 (GICS) によるものです。

※個別企業の推奨を目的とするものではありません。

## 収益分配金に関する留意事項

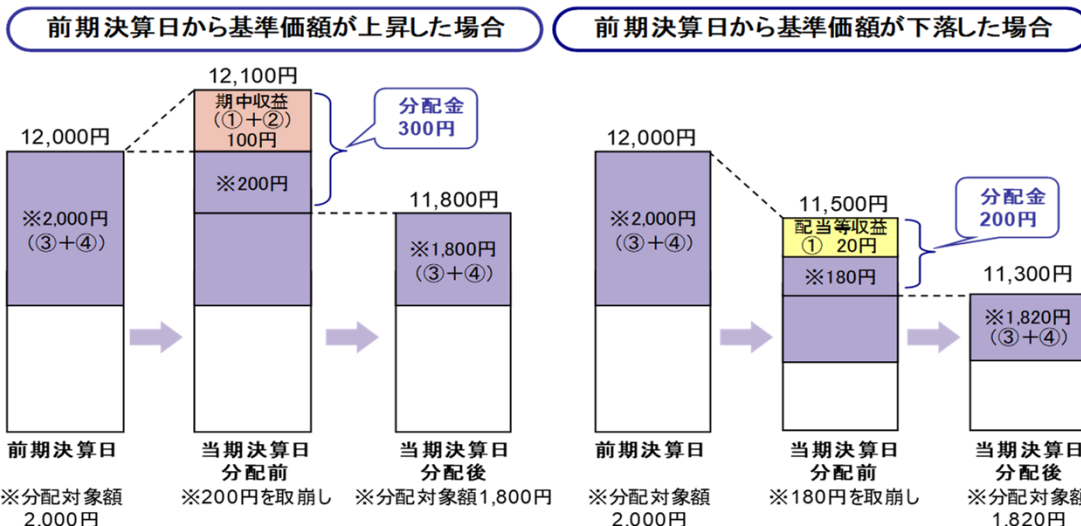
- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ



- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

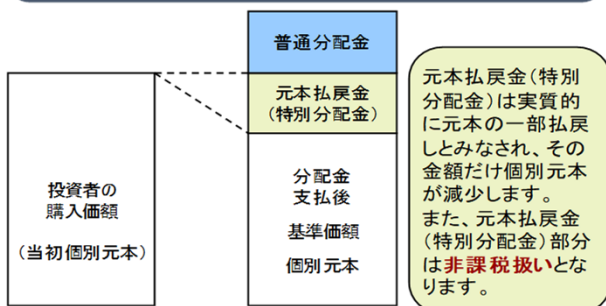
### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



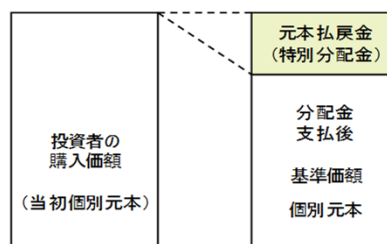
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。  
元本払戻金 : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

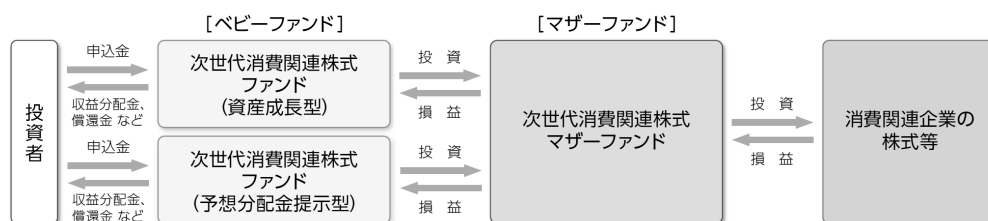
## Ⅰ ファンドの目的・特色

### ファンドの目的

日本を含む世界の株式等の中から、消費関連企業の株式等に投資し、信託財産の成長をめざします。

### ファンドの特色

- 日本を含む世界の株式等の中から、消費関連企業の株式等に投資します。  
※株式等には、リートおよびETFを含みます。  
※当ファンドにおける消費関連企業とは、若い世代を中心とした消費者層の消費行動から恩恵を受ける企業を指します。
- 株式等の運用は、アリアンツ・グローバル・インベスターズU.S.LLCが行ないます。  
◆ 株式等の運用にあたっては、アリアンツ・グローバル・インベスターズ U.S.LLC に運用の指図にかかる権限を委託します。
- 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。



- 分配方針の異なる2つのファンドがあります。

#### 資産成長型

- 毎年6月9日および12月9日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。  
（注）第1計算期間は、2022年6月9日（休業日の場合翌営業日）までとします。

#### 予想分配金提示型

- 毎月9日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。  
（注）第1計算期間は、2022年1月9日（休業日の場合翌営業日）までとします。
- 計算期末の前営業日の基準価額の水準に応じ、下記の金額の分配をめざします。  
※ 基準価額は1万口当たりとし、既払分配金を加算しません。  
※ 当該計算期末に向けて基準価額が急激に変動した場合等には、下記の分配を行なわないことがあります。

計算期末の前営業日の基準価額	分配金額(1万口当たり、税引前)
10,000円以上 11,000円未満	基準価額の水準等を勘案した分配金額
11,000円以上 12,000円未満	200円
12,000円以上 13,000円未満	300円
13,000円以上 14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

※ 計算期末の前営業日の基準価額が10,000円未満の場合、原則として、分配を行ないません。

※ 基準価額に応じて、分配金額が変動します。基準価額が上記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を続ける、というものではありません。

※ 分配により基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。

※ 販売会社によっては「資産成長型」または「予想分配金提示型」のどちらか一方のみのお取扱いとなる場合があります。くわしくは販売会社にお問い合わせ下さい。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

## 投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、リートの価格変動）」、「特定の業種への集中投資リスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

## ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉3.3%（税抜3.0%）	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 （信託報酬）	年率 1.936% （税抜 1.76%）	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・ 手数料	（注）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問い合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託およびETFは市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社：

**大和証券**

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号  
加入協会 日本証券業協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人金融先物取引業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用：

**大和アセットマネジメント**

Daiwa Asset Management

商号等 大和アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

## 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。